

## 第 94 回 FM させば番組審議会 議事録

●日時：2022 年 10 月 25 日（火）14:00～15:00 会場：四ヶ町会議室 4階

●課題番組：ラジオオタク惑星（担当：松田ジュリエッタ・ファンファン）水曜 19時～20時  
2022 年 9 月 14 日放送分

●番組内容：オタク的サブカル談義、YouTube 動画配信投稿者集団によるオタク総合バラエティ番組。  
YouTube チャンネルと SNS でのネット活用によるアニメ・特撮にこだわった番組です。

### ●審議記録

- ① 山口委員：ファンファンさんのテンポの良い喋り、都会的でラジオ向きの声質、団長とのコンビネーションも良かったと思います。リスナーさん参加型のオタワングランプリ、1950 年代後半から 2010 年代までのアニメオタク世代を筆頭に、全世代をカバーする番組構成よく考えられています。私自身アニメオタクではないので内容についての評価はできませんが、流れる曲には懐かしさを感じました。これを機会に YOUTUBE も拝見させて頂きましたが、放送動画のほとんどが再生回数 2 桁台だったのがちょっと残念です。
- ② 伊藤委員：番組構成は非常に良かったが、私自身は、クイズに一間も正解出来なかった。クイズ形式の番組は、リアルタイムに聴取者が参加できる双方向の番組として良い。また、次週のテーマを事前に予告するのは良い試みである。
- ③ 深堀委員：どんな番組なのか、内容の説明が無くスタート、最初は世界が違う戸惑いを感じた。勿論、YOU-TUBE などは見た事ありません。番組はテンポが速く、キーが高い、やかましい感を否めなかった。しかし、しばらく聞いていると 2 人の掛け合いやテンポにも慣れて心地良くなってきた。この番組の主要リスナーはどんな人達なのか、年齢層はどうなんだろうか？と興味が沸いて来た。途中からは、ウルトラマンや月光仮面迄登場し、いよいよ摩訶不思議な感じがした。
- ④ 草津委員長：昭和の人間としては最初に宇宙戦艦ヤマトのクイズがあり、大変懐かしく回想しておりました。ちなみにクイズは正解しました。その他にもアニメの情報があり、クイズがあり、声もはっきりしていて進行は良かったと思いますが、雑談形式ならではの内容がはっきりしない点があるのではないかと思います。提案ですが、起承転結を作ってはいかがでしょうか？コーナー分けをして雑談を挟みながらのクイズのコーナー、雑談を挟み、情報提供のコーナーなどと言った具合にすれば、番組が締まるのではないかと思います。決してガチガチにする必要はありませんが、メリハリはつけた方が聴く側にも良く伝わると思います。
- ⑤ 重信委員：・今回の番組内容は昔より興味のある分野でして、大変楽しめました。クイズなどは秒で答えられるものもあり、車中で一緒に拝聴した家内などは、助手席から問題読み上げのうちに食い気味に「第三艦橋」などと言ったときは、かなり顔が後ろに下がっておりました。常連のリスナーがクイズに答えておられ、コミュニケーションが頻繁に行われている印象で、スタジオとリスナーの一体感が心地よく感じられました。話中に「エクセリヤン」「ララァ」などリスナーへ響くようなキーワードもちりばめておられ集中して聴けました。反面、テンションが非常に高いため、ヲタ周辺に興味ない方は、相当に置いて行かれるのではないかと心配になりました。

但し、番組名が「オタク惑星」と最初から宣言しているような意図を感じられ、趣味の世界の番組としては望むところだと思います。・クイズの回答時間のたびに挿入される曲は、出題されたアニメーションの主題歌などであり、おそらくパーソナリティーの得手とはいえ、気配りを感じました。・出題原作だけではなく、トークの中にオマージュ別作品などのことも話題としてちりばめてあり、番組全体を通して飽きさせない雰囲気を作りこんである印象でした。第一・第二問と、その後の問題で初回放映の時期が大きく離れていて、更に「月光仮面」へと時代を遡った話題も面白く、ヲタのサブカルとしての文化風俗も、すでに世代をまたいでいるのだと、少々感慨深いものがありました。番組内容としては、最初からニッチな層をターゲットとしてフォーカスしておられるので、いわゆる「身内受け」に関しては、むしろ片目をつぶって、さらに尖っていても宜しいかと思えます。エッジの効いた、聴取者を選ぶ番組ではありますが、今後もこのような対象を絞る番組や話題や構成が許されるのもラジオならではのと考えています。必要な、ぜひ長く続いてほしいプログラムです。※所感 以上 追)最後の曲は「帰ってきたウルトラマン」の MAT 戦闘時のワンダバでは。。。。。

以上

議事録作成：遠田公夫